LIXIL　プレスタ門扉・アルメッシュ門扉　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

●門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途･目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。
特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながる恐れがあります。

注意

●製品破損、倒壊による人への危害･物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

＜施工上のご注意＞

注意

●外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。重大な事故につながる恐れがあります。
●製品破損による人への被害･物的損害が想定されますので下記事項をお守りください。
・ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
φ4ねじ：1.0N･m±0.5N･m（10±5kgf･cm）
M4ねじ：2.5N･m±0.5N･m（25±5kgf･cm）
M6ボルト：5.2N･m±0.5N･m（52±5kgf･cm）

ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
●施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■梱包明細表

【1】扉本体

名　　称		略　図	員 数
扉本体			1
吊元框下キャップ　※1			1
合掌框下キャップ　※1			1
門扉部品セット	上ヒンジ		1
	下ヒンジ		1
	ヒンジ裏板		2
	ヒンジキャップ		2
	ヒンジカバー		2
【1-1】M4×10トラスネジ			8

【1】扉本体　つづき

名　　称	略　図	員 数
【1-2】φ4×10 サラタッピンネジ1種(D=6)		2
取付説明書<A586>	—	1

【2】ロック付き落し棒

名　　称	略　図	員 数
落し棒本体		1
落し棒受け		1
【2-1】φ4×10 サラタッピンネジ1種（D=6）		2

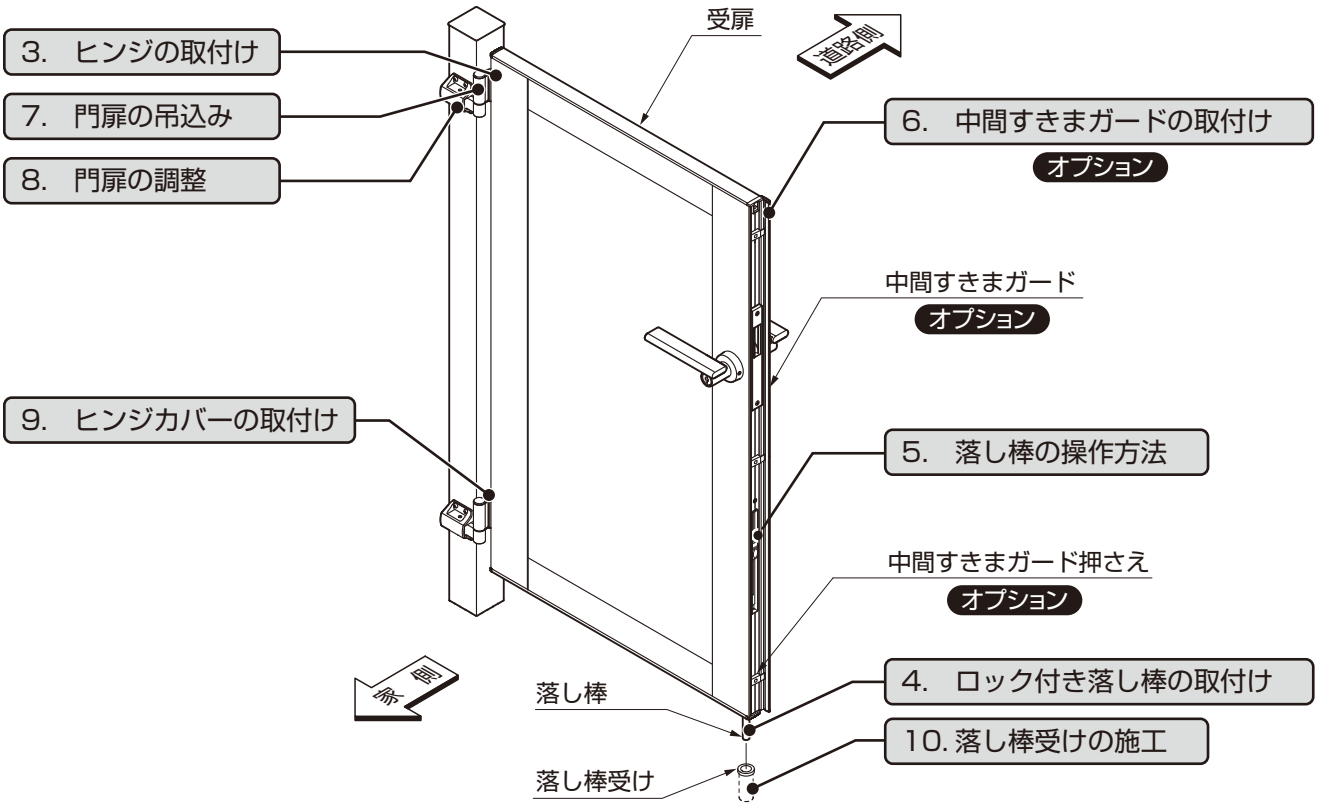
【3】中間すきまガード　オプション

名　　称	略　図	員 数
中間すきまガード		1
中間すきまガード押さえ		3
【3-1】φ4×16 サラタッピンネジ3種(D=6)		3

※1　扉本体に仮止めしてあります。

1. 取付けの流れ

●下記、3.～10.の順に取付けてください。

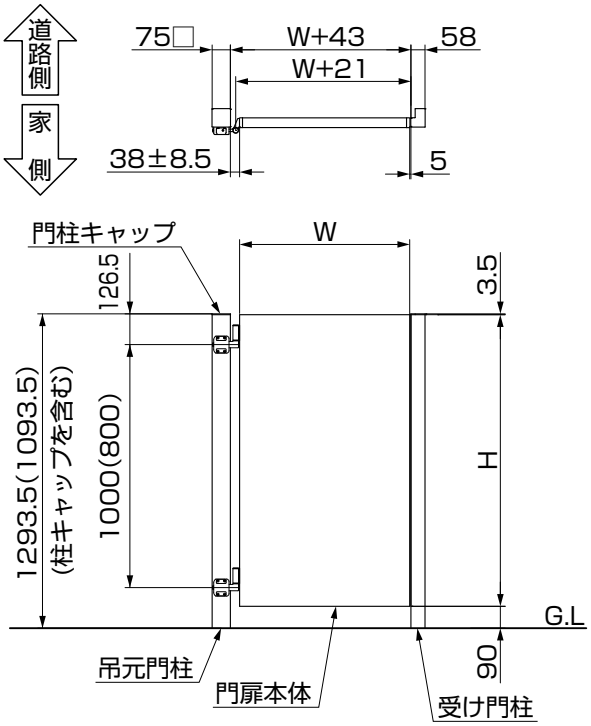


A586_201510B

2. 基本寸法図と各部名称　※図は、H12内開き仕様を示します。

2-1 基本寸法

（1）片開き（内観図）

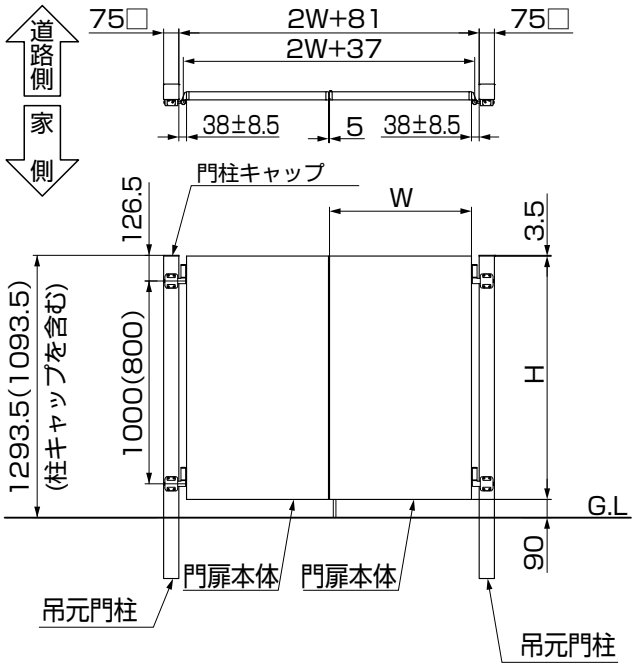


補 足

●寸法はH12の場合を示し、（　）内寸法はH10の場合を示します。
●Wは扉の横幅寸法を示します。

呼　称	W	H
06-10	600	1000
07-10	700	1000
08-10	800	1000
09-10	900	1000
06-12	600	1200
07-12	700	1200
08-12	800	1200
09-12	900	1200

（2）両開き（内観図）



補 足

●寸法はH12の場合を示し、（　）内寸法はH10の場合を示します。
●Wは扉の横幅寸法を示します。

呼　称	W	H
04-10	400	1000
06-10	600	1000
07-10	700	1000
08-10	800	1000
09-10	900	1000
04-12	400	1200
06-12	600	1200
07-12	700	1200
08-12	800	1200
09-12	900	1200

2-2 部品配置

（1）片開き

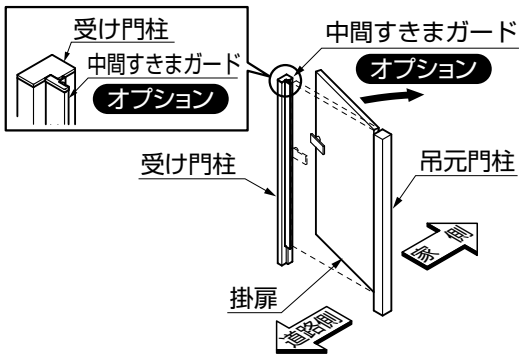


図1-1　右勝手・内開き

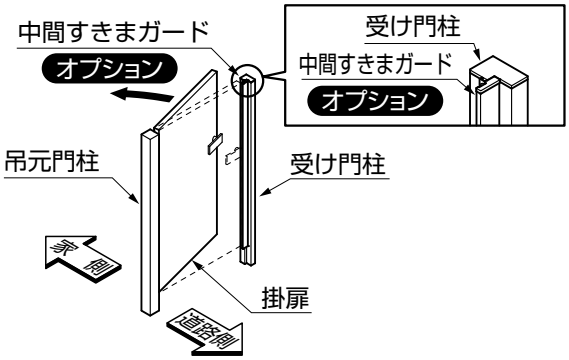


図1-2　左勝手・内開き

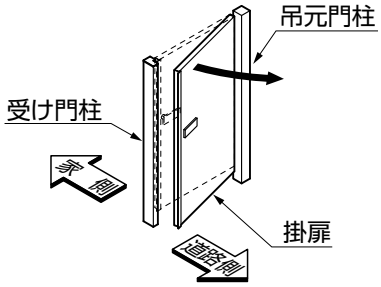


図1-3　右勝手・外開き

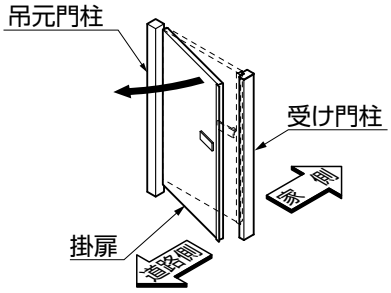


図1-4　左勝手・外開き

（2）両開き

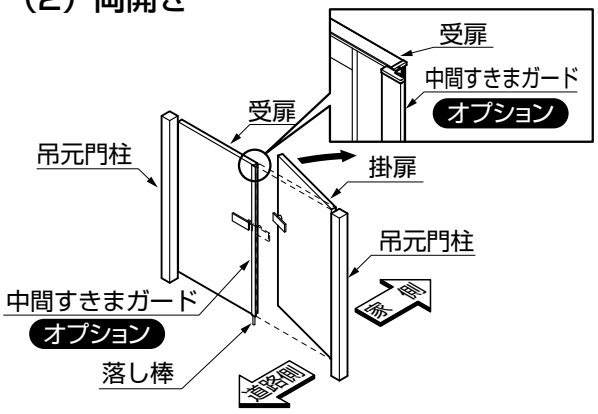


図1-5　右勝手・内開き

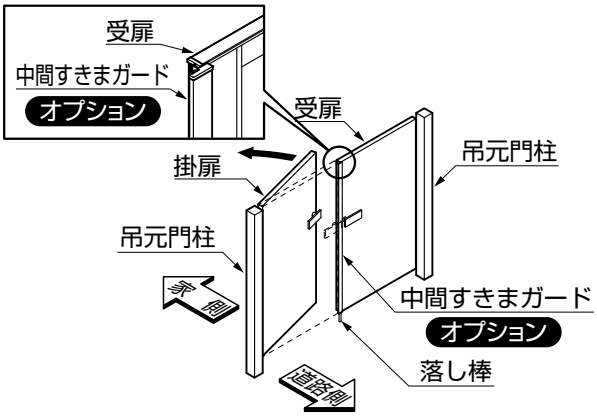


図1-6　左勝手・内開き

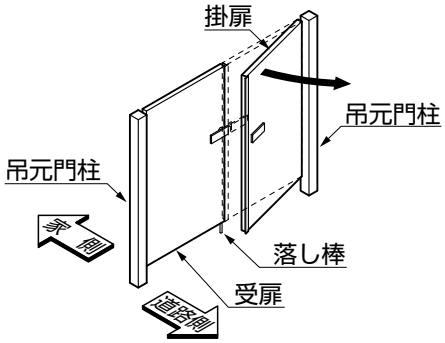


図1-7　右勝手・外開き

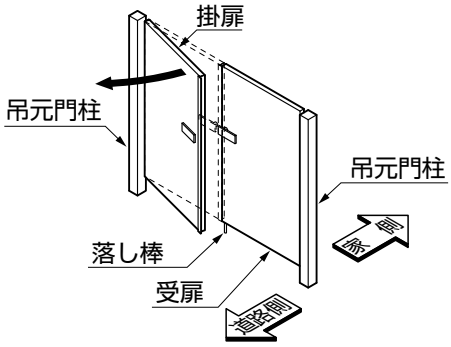
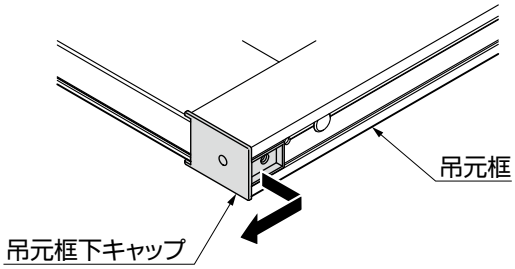


図1-8　左勝手・外開き

A586_201403A

3. ヒンジの取付け ※図は、H12の場合の寸法です。(　)内寸法はH10の場合を示します。



①仮止めされている吊元框下キャップを引き抜き、取外してください。

表3-1　ヒンジ取付寸法

呼　称	H
H10	800
H12	1000

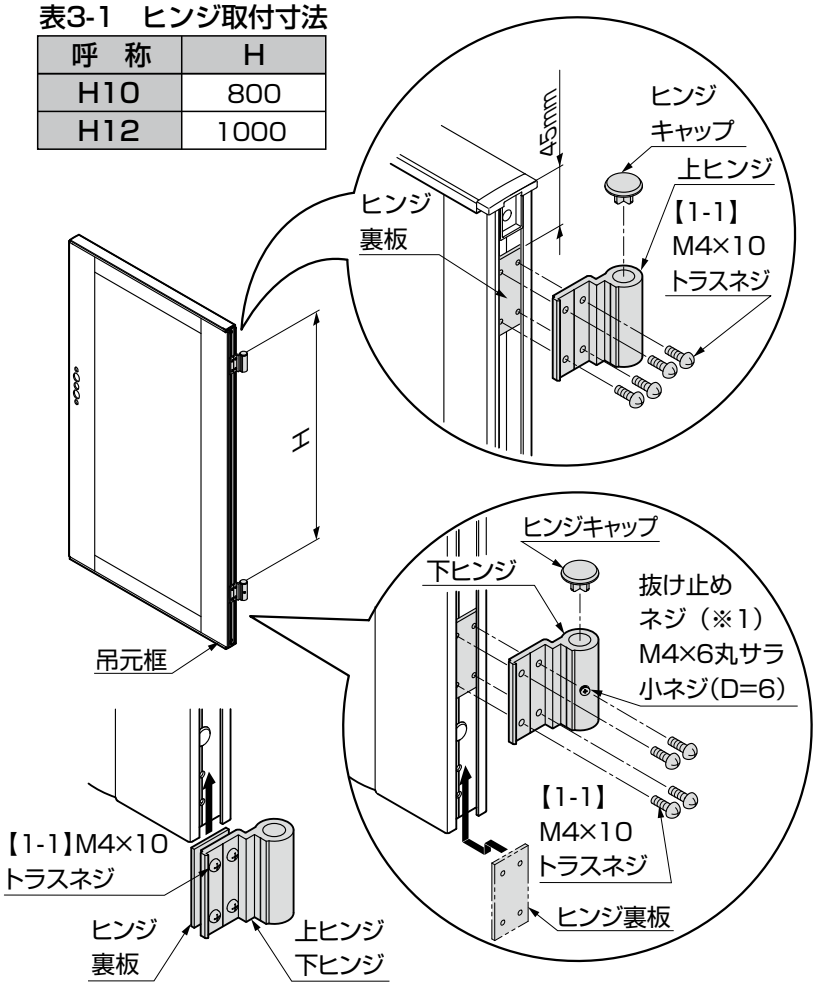


図3-1

②ヒンジ裏板を吊元框下端からスライドして、各ヒンジを図に示す位置に【1-1】で固定してください。（表3-1参照）
③ヒンジキャップを取付けてください。

ポイント

●ヒンジには上ヒンジと下ヒンジの区別があります。
●抜け止めネジ(※1)がついているヒンジが下ヒンジです。

補 足

●あらかじめヒンジに、ヒンジ裏板を仮組みした状態で吊元框にスライドさせ、取付けると簡単です。(図3-1参照)
●ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。(図3-2参照)

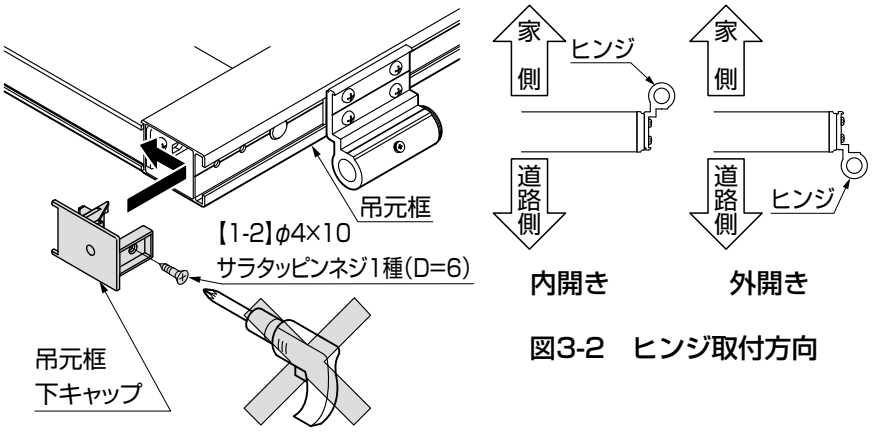


図3-2　ヒンジ取付方向

④ヒンジの取付けが終了したら吊元框下キャップを【1-2】で取付けます。

補 足

●【1-2】は、吊元框下部にテープ止めされていたネジを使用します。

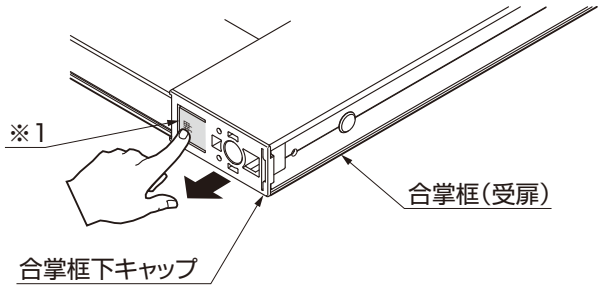
ポイント

●吊元框下キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。

A586_201403A

4. ロック付落し棒の取付け　※両開き仕様の受扉側のみです。

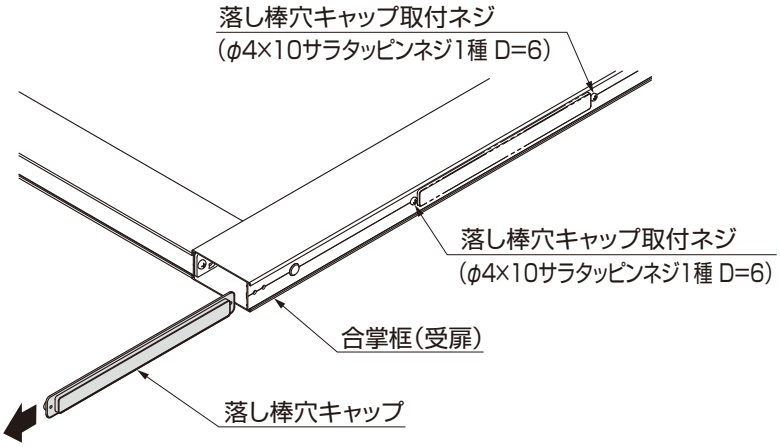
4-1 落し棒の取付方法



①「押」の部分(※1)を押しながら、合掌框下キャップ全体を引き抜き、取外してください。

補 足

●合掌框下キャップは、仮固定状態で梱包しています。

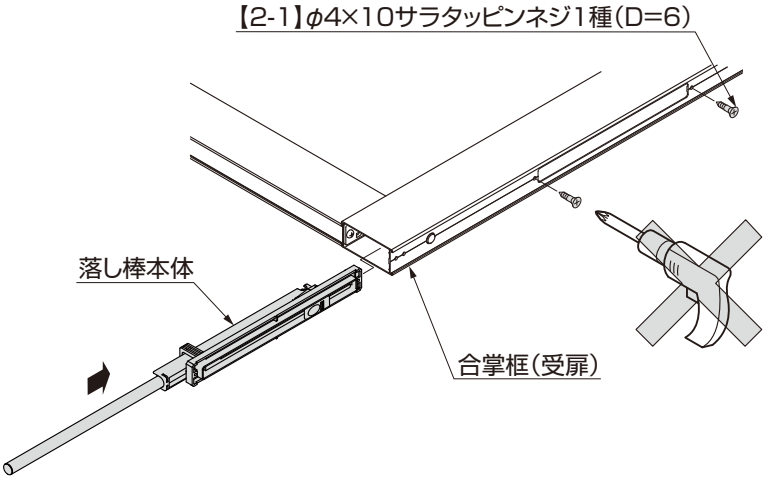


②「落し棒穴キャップ取付ネジ」を外してください。

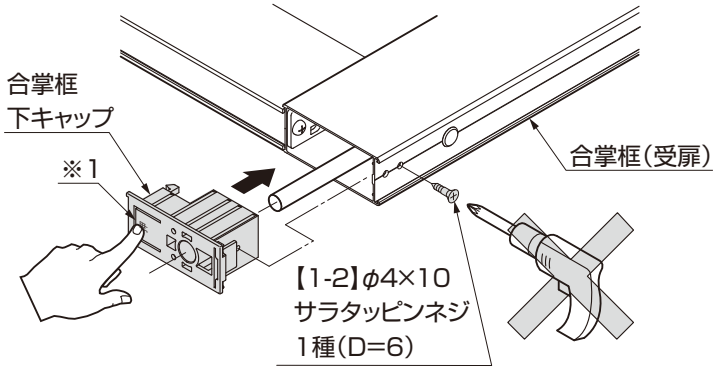
③落し棒穴キャップを取外してください。

ポイント

●落し棒穴キャップ、落し棒穴キャップ取付ネジは再使用しません。



④落し棒を半分ほど下げた状態にして、落し棒本体を框内部に挿入し、【2-1】で取付けてください。



⑤①で取外した合掌框下キャップを、「押」の部分(※1)を押しながら合掌框に挿入し、【1-2】で取付けてください。

注 意

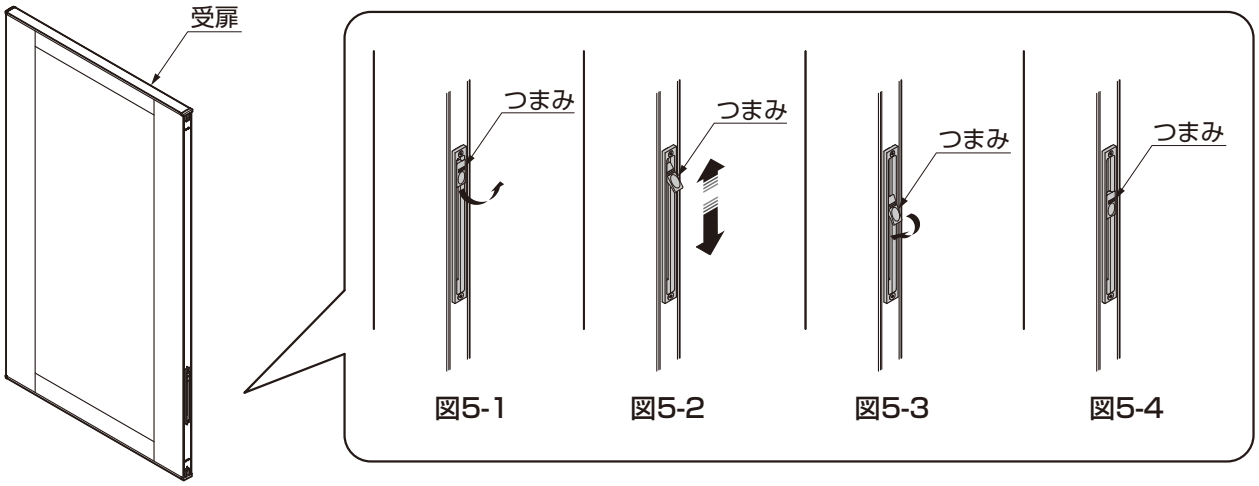
●取付け・取外しの際、形材の小口面でケガをしないよう、十分に注意してください。

ポイント

●落し棒本体、合掌框下キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。

A586_201510B

5. 落し棒の操作方法



①つまみを引き上げ、ロックを解除してください。（図5-1参照）
②①で起こしたつまみをそのまま上下させて落し棒を操作します。（図5-2参照）
③落し棒の位置が決定したら、つまみを元にもどしてロックしてください。（図5-3参照）

ポイント

●落し棒操作時以外は、ロック状態にしてください。（図5-4参照）

6. 中間すきまガードの取付け ※内開きの場合のみです。

オプション

6-1 下穴加工

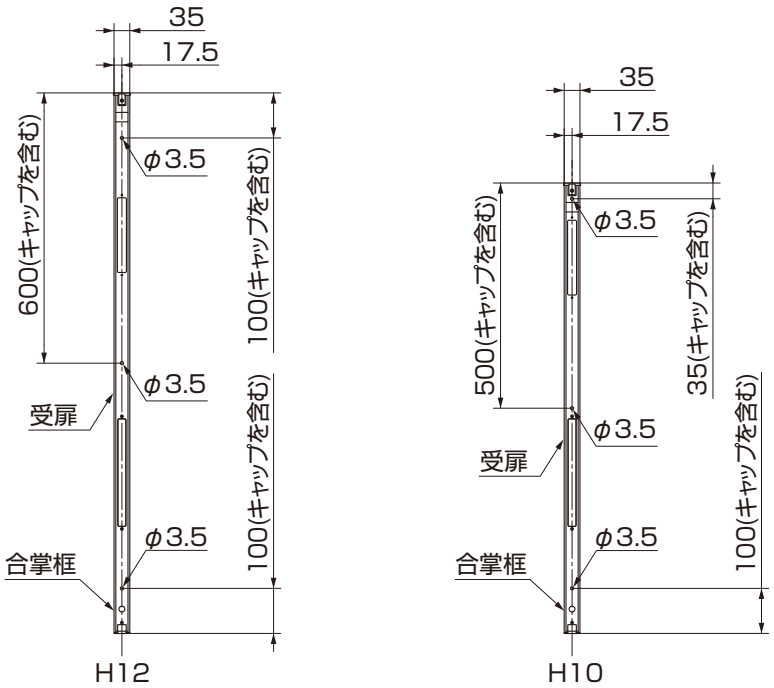


図6-1 合掌框に取付ける場合

A586_201510B

6-1 下穴加工　つづき

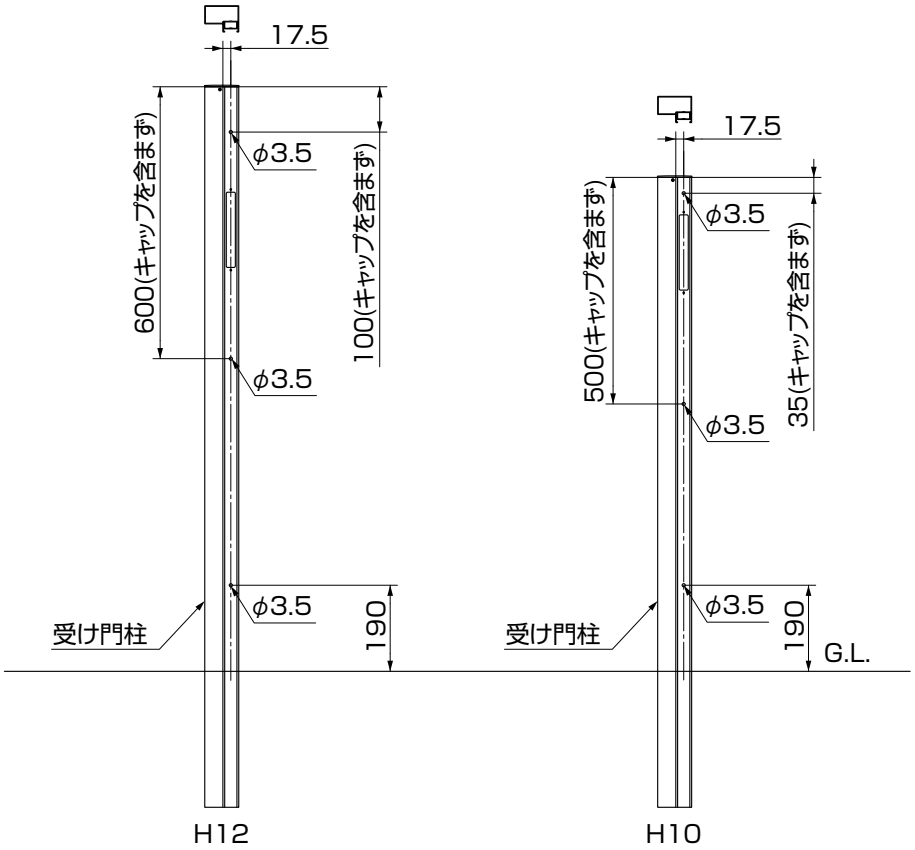


図6-2 受け門柱に取付ける場合

①合掌框または受け門柱の錠受け部材にφ3.5の穴をあけてください。

6-2 中間すきまガードの取付け

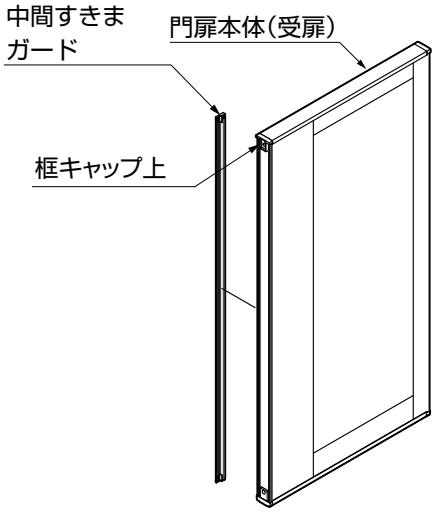


図6-3　合掌框につける場合

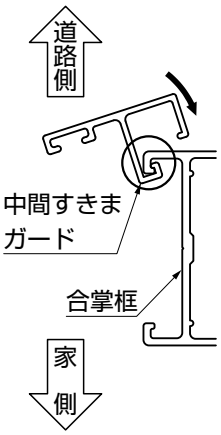


図6-5

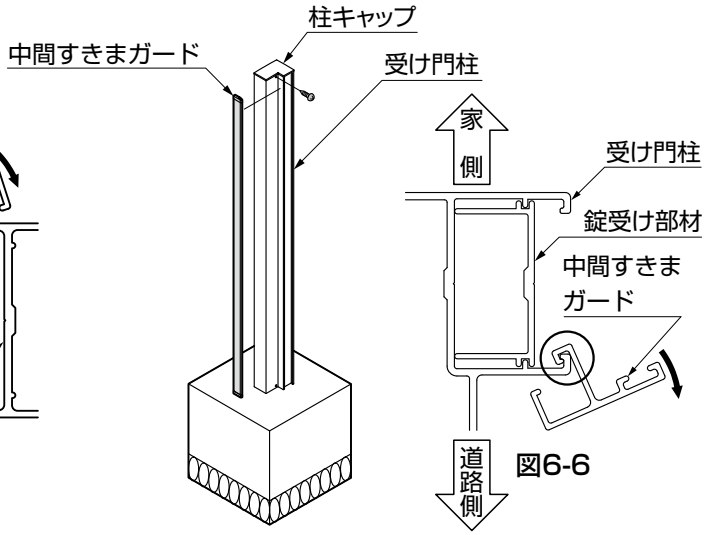


図6-6

図6-4　受け門柱につける場合

①合掌框または、受け門柱に中間すきまガードを○部分に引っ掛けるように取付けてください。(図6-5、図6-6参照)

補 足

●錠のフロントカバーが取付いている場合は、フロントカバーを取外して中間すきまガードを取付けてください。

A586_201403A

6-3 中間すきまガードの固定

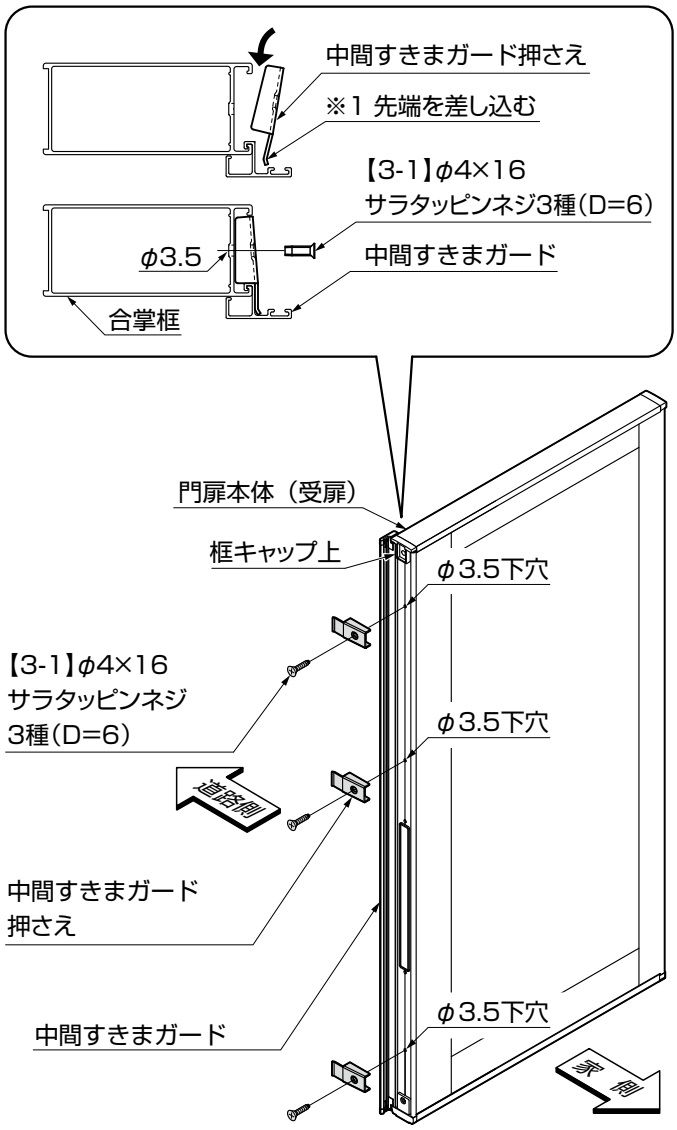


図6-7　合掌框につける場合

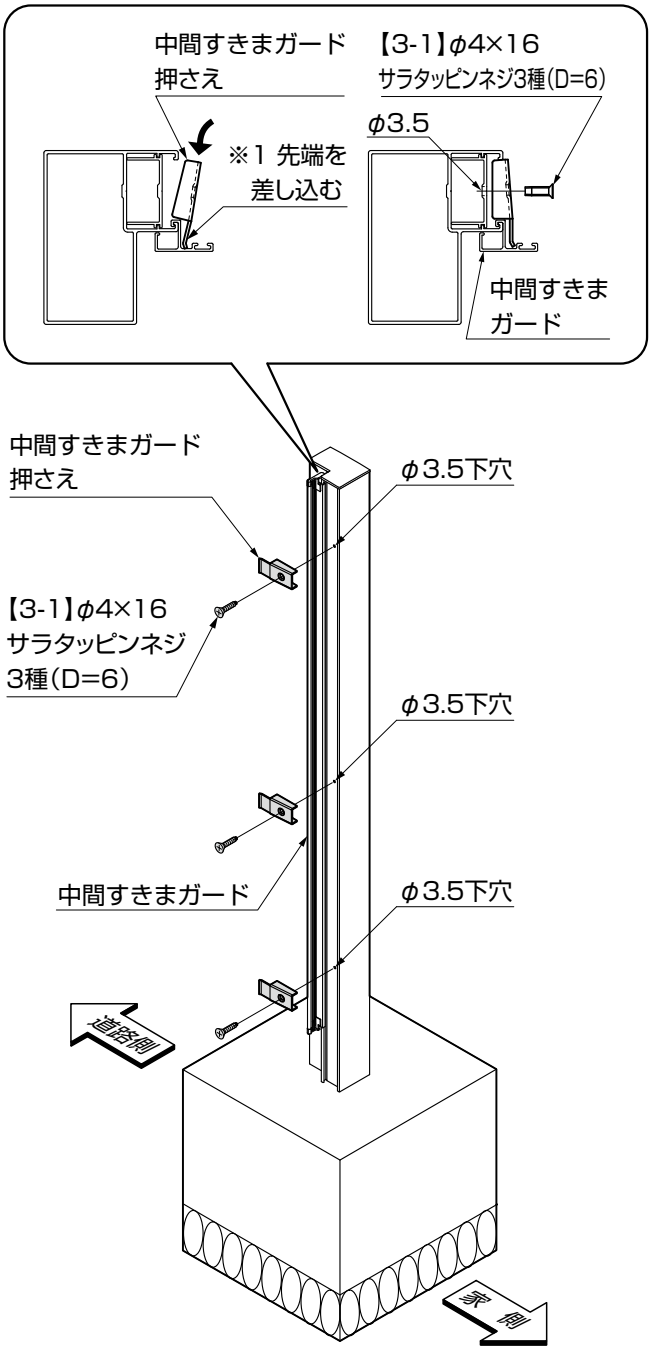


図6-8　受け門柱につける場合

①中間すきまガード押さえを中間すきまガードの溝に差込み（※1）ながら挿入して、【3-1】で取付けしてください。
（図6-7、6-8参照）

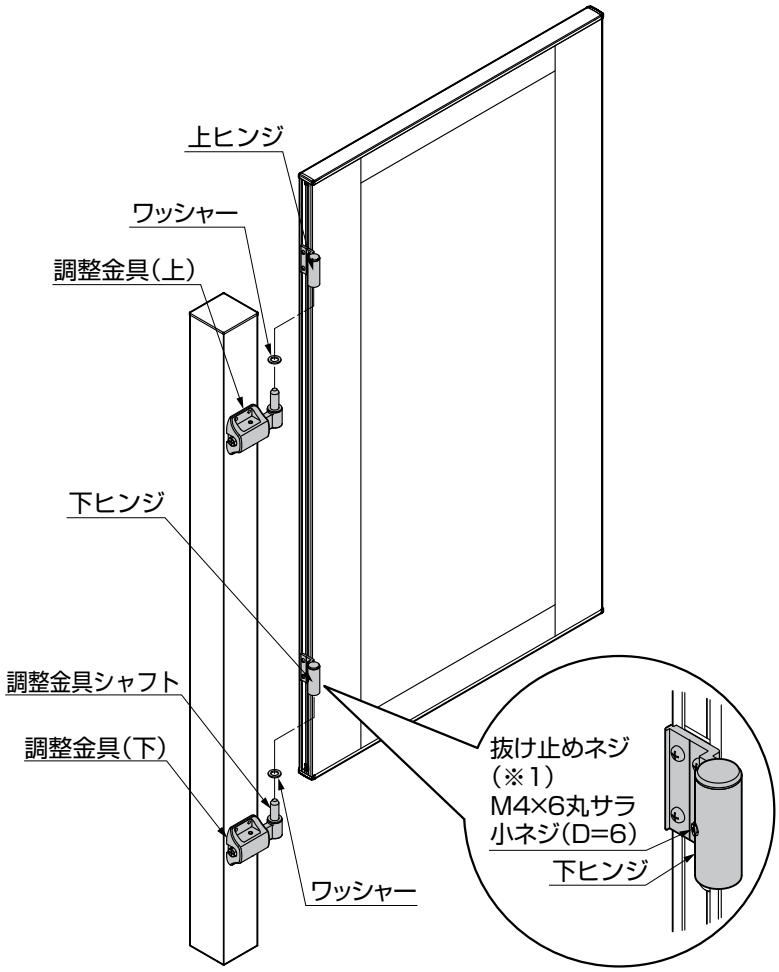
ポイント

●中間すきまガードは道路側に取付けてください。
●合掌框および受け門柱には中間すきまガード取付け用の穴加工はありませんので、下穴φ3.5を開けてから取付けてください。

補 足

●中間すきまガードの取付位置は、「2-2 部品配置」を参照してください。

7. 門扉の吊込み



①下ヒンジの「抜け止めネジ(※1)」をゆるめてください。

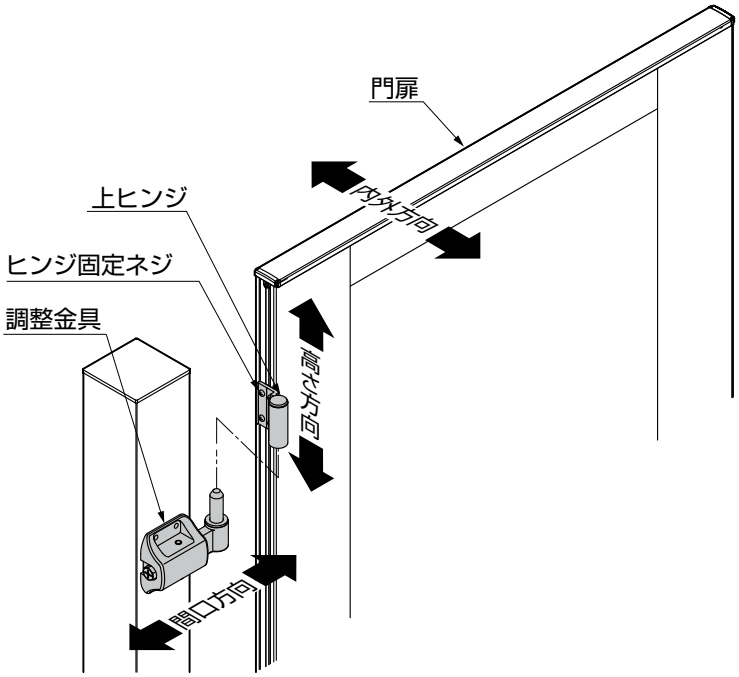
②門柱に同梱のワッシャーを、調整金具シャフトに取付けてください。

③調整金具シャフトに上ヒンジ、下ヒンジを差込んで、門扉を吊込んでください。

④下ヒンジの「抜け止めネジ(※1)」を締込んでください。

8. 門扉の調整

8-1 門扉の調整方法



①高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整してください。

ポイント

●門扉とG.L.のすきまは90mmが標準です。

②間口方向および内外方向の調整方法は、「 8-2 調整金具の調整方法」により調整金具で調整してください。

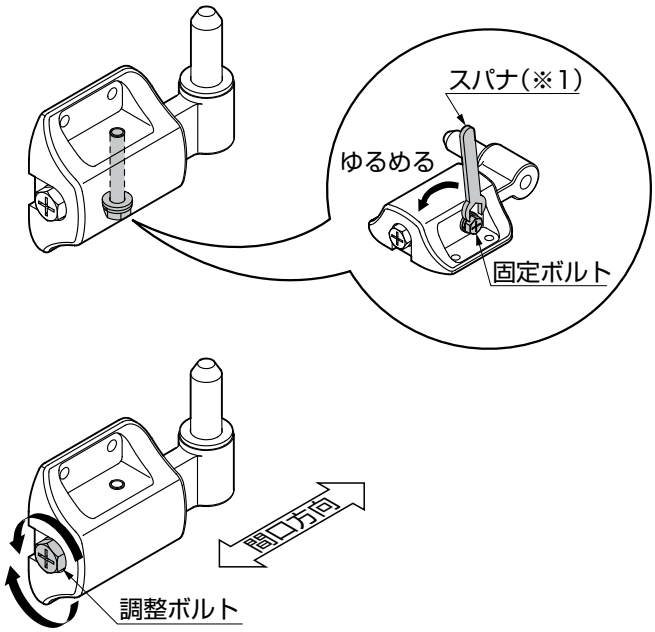
補 足

●錠の取付説明書を参考に錠を取付けてください。

A586_201403A

8-2 調整金具の調整方法

※固定ボルトは必ず呼び10のスパナを使用してください。（※1）



①「固定ボルト」を呼び10のスパナでゆるめてください。

ポイント

●「固定ボルト」を締めたまま間口寸法を調整すると「固定ボルト」が破損します。

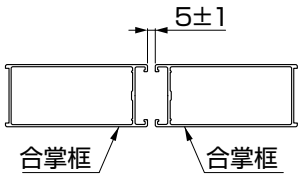


図8-1

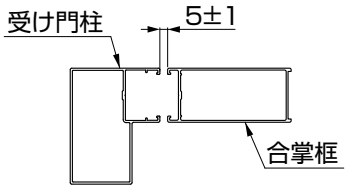
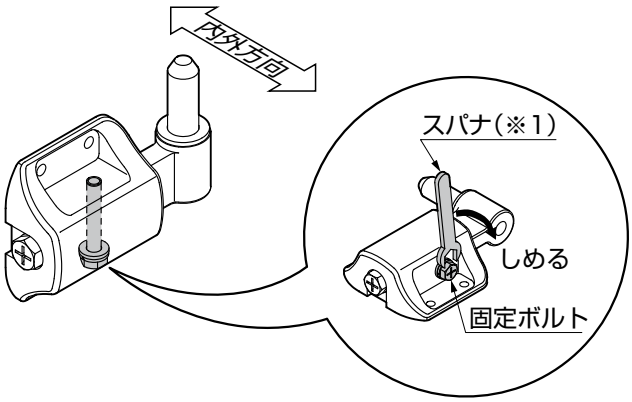


図8-2

②「調整ボルト」をまわして、図8-1、図8-2のようにチリ寸法を5±1mmに調整してください。

ポイント

●上下のチリ寸法およびねじれがないように調整してください。



③内外寸法を決めたあと、「固定ボルト」の固定は呼び10のスパナで締付けてください。

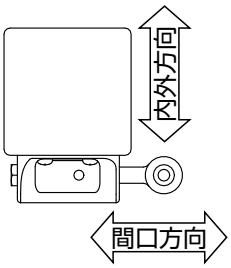


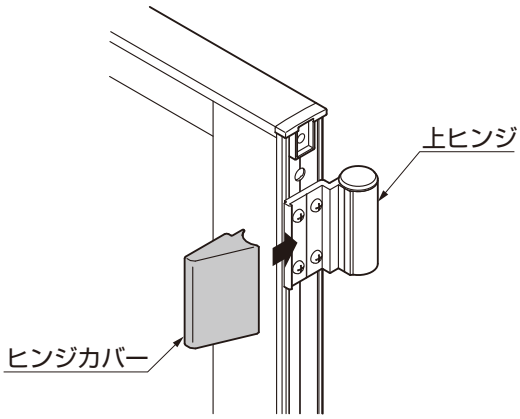
表8-1　調整範囲

内外方向	±4.5
間口方向	±8.5

補 足

●調整範囲は表8-1を参照してください。

9. ヒンジカバーの取付け

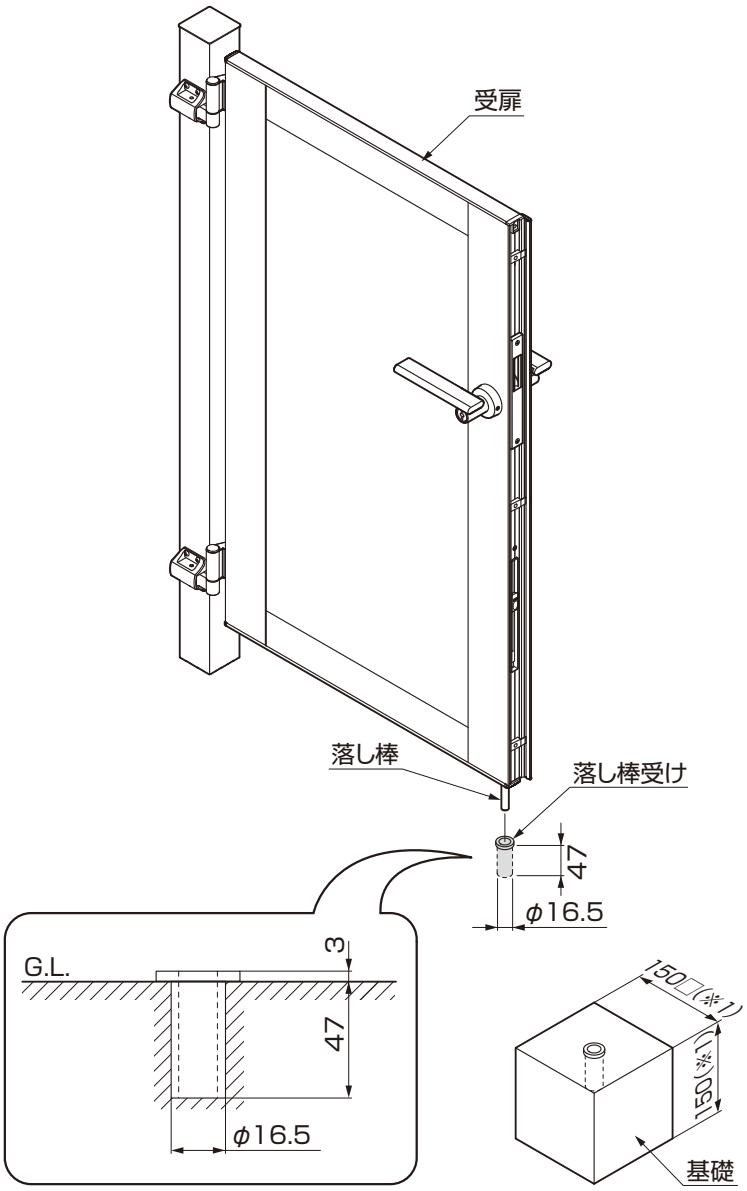


①上ヒンジと下ヒンジに、ヒンジカバーをはめ込んでください。

ポイント

●ヒンジカバーを挿入するときに「パチン」と音がすることを確認してください。

10. 落し棒受けの施工



①受扉を閉めた位置で落し棒を収める位置に、落し棒受けを施工してください。

ポイント

●落し棒受けの埋込位置は、現場合わせで決めてください。
●基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※1)。

補 足

●床面がタイル仕上げ等の場合は、落し棒受けの施工時に、床面が割れないように注意してください。
●落し棒は框の下面から最大180mmまで下がります。
●落し棒の操作方法は、「5.落し棒の操作方法」を参照してください。

取説コード
A586

JZZ626156A
201403A_1047
201510B_1049